

48 小金井宿～石橋宿

栃木県下野市  
自治医大～薬師寺  
(歩行距離 2088m 27分)

歩く地図でたどる日光街道  
http://nikko-kaido.jp/  
JZE00512@nifty.ne.jp

**旧日光街道跡**  
本来の日光街道の跡が真っ直ぐ延びる農道として残っている。このあたり晴れた日には、北西方向に日光連山を遠望でき江戸時代の風景を連想させてくれる。  
「小金井のあたりより常陸の筑波山みゆる。頂(いただき)二り。高山なり。形は富士に似たり。此辺より九里ばかり有。凡(およそ)江戸を出て東北に行けば、此山より外(ほか)山見えず。...此国の駅路のほとりに、桃李の花多々多し。桃の花は西国の桃より色濃(こく)つるはし。李(すもも)の花も又よし。西国の李にまさりて色白し。...犬桜も又うるはし。此辺に橋・金橋(きんかん)・相(こうじ)の類見えず。寒国故なるべし」(名所記)



**稲荷神社**  
笹原新田を開拓した住民が、万治2年(1659)に創建したといわれている。ここは昔から稲荷御殿林といわれた松林の小高い台地にあった。

**龍興寺**  
薬師寺の別院で二ヶ寺の一つ。鑑真が唐の揚州にあった竜興寺舎那殿壇の法を移して名付けたという。安国寺と龍興寺は、江戸中期に共に薬師寺の後身として争ったが、当時はいずれとも定められなかった。  
この龍興寺には称徳天皇の寵をうけて法王になり、天皇の崩御後に左遷されて薬師寺別当となった、弓削道鏡の墓と伝える道鏡塚がある。塚上に笠塔婆二基がある。「鑑真大和尚天平字年(761)5月5日と鐫たる幅1尺に高二尺斗り石笠のある石塔あり。又弓削道鏡が塚とて...あり。石表もあれども文字見へがたし」(日光駅程見聞雑記)道鏡の流罪は神護景雲4年(770)で、その2年後に亡くなる。

**六角堂**  
江戸時代後期の建物で、ここに戒壇があったという。近年の調査で堂の下層に古代の基礎建物物が確認されたが、戒壇堂かどうかは不明である。

**天狗山雷神社**  
創建年不詳。通称雷電様と呼ばれている。言い伝えによると、災害に苦しんでいた村人たちが雷神为天狗の姿になって助けたことから、お祀りするようになったという。



国道4号から日光街道に入る



**薬師寺八幡宮**  
貞観17年(875)に創建。関東東北部の総社。現在の社殿は寛文2年(1662)佐竹右京太夫によって再建された。

**安国寺**  
平安時代後期に下野薬師寺は衰退した。室町時代に足利尊氏の発願により、後醍醐天皇以下、南北朝の戦いの戦没者を弔うため、諸国に設けられた寺院だが、下野では薬師寺があったのでこれを改名したものの。

**下野薬師寺**  
「宿の東29町に薬師寺村といふ処あり。往古勝道人得道せし戒壇もありたる薬師寺にて、寺は天正の頃小田原の北条氏直が為に焼けて一宇も残らず。今其村に二ヶ寺あり。一は医王山菩提院安国寺といふ。」(日光駅程見聞雑記)  
7世紀末に創建された下野薬師寺は、東大寺(奈良県)、筑紫観世音寺(福岡県)と共に、天平宝字6年(762)に設けられた戒壇は「天下の三戒壇」と呼ばれた。官僧(正式の僧)となるための修行の場だった。  
元亀元年(1570)北条氏政の兵火によって全焼、その後戒壇の跡に建てられたのが今も残る六角堂である。薬師寺は発掘調査の結果、七堂伽藍を備えた大寺だった。



**笹原新田立派**  
江戸時代はうっそうとした松や杉の大木の並木が続いていた。また、日光駅程見聞雑記によると「笹原新田立派なり」とある。

**五千石原**  
このあたり「秋田原 佐竹林の辺なりむ、又五千石原ともいふ。此辺の高五千石ありとぞ」(日光道中略記)

**佐竹領**  
このあたり「佐竹林 佐竹領なり」(日光道中略記)

左右に田園風景が広がる。車も少なく歩くのに最適。

左は広い畑、右に杉の垣根がある。車はほとんど通らない。

この道は松並木になっている